



色んな作物に使われている「aika **エポック**」ですが、それでも

“私は米だと思おう”

新版野菜の作業便利帳(農文協)
愛華農法(農文協) 著者:川崎重治氏

- 苗床、種蒔いた後、発芽が違う。
- 倒ふくしない。
- 稲の姿が変わる。
- 葉っぱの構造から変わる。
- 姿がVになる。15cmまで根が行く。
- 管の大きさが違う。
- 光合成が盛んになる。
- モン枯れ、まずない。
- モミガラ細菌少ない。
- 貯蔵が効く。
- しろかきの時に使う。
- 水口から流すだけ。
- 「エポック」を流せば、麦も畑にすき込める。
- 後作の玉ネギ、レタス、水稻10アール当たり「エポック」2L流すだけで基層が変わる。
- 土は短期間、1年で変わる。
- 除草剤が1/3でいい。
- 耕機作業がうまくいく。
- 大きく技術大系を変えるものだ。
- 今までにない資材だ。(色々な資材を試してきたが…)
- 収量が上がる。

等々



- ◀ A. 無施用
- B. 幼穂形前に特殊肥料「エポック」施用



▲早期コシヒカリの草姿

ワラは太く硬い。下葉の枯れが少なく、生葉数は5~6枚を数える。早期水稻だけでなく、普通栽培でも同じ。

水稲 根腐れがなく蛋白の少ないうまい米づくりが可能

育苗中の立枯れと生育後半の根腐れ、高温障害による品質低下、食味に関連する玄米中の蛋白含量の引き下げ、野菜やダイズ跡の倒伏などの課題解決に。

播種時または緑化時の「エポック」の灌注、田植時の苗の「エポック」のどぶ漬け、代かき時や幼稲形成前と穂揃い期の「エポック」の灌注、乳熟期の「天酵源」と

「エポック」の葉面散布で、生育中期以降の根腐れが防止でき、下葉の枯れ上がりを少なくできる。そして茎が太く、穂数と枝梗数が増え、玄米の千粒重が重く玄米収量は慣行より多くなる。玄米の品質は腹白米、青米がきわめて少ない。対照区より窒素施肥量が多い「エポック」施用区の蛋白含量が少ない。

有機JAS認証



土がよみがえる
特殊肥料

aika
エポック

■ 介在する微生物の菌種と菌概数(1g当たり)

分離菌群	エポック
嫌気性グラム陰性桿菌	3×10 ⁶
乳酸桿菌	9×10 ⁴
好気性芽胞菌	5×10 ⁴
非発酵性グラム陰性桿菌	3×10 ³
嫌気性、多形性、無芽胞グラム陽性桿菌	2×10 ⁴
酵母	N1
好気性、多形性、無芽胞グラム陽性桿菌	N1
嫌気性芽胞菌	N1
カビ	-

注 N1: 優勢に分離されず

試験依頼先 財団法人日本食品分析センター
試験成績書発行日 平成14年11月18日
試験成績書発行番号 第402090246-013号

水を変える。土を変える。
品質と収穫が変わる。

水の浄化、土の団粒化、
土壌微生物相を変えるには、
有機物を分解する微生物が重要です。

- 硫化水素が消える。
- 根の発育や動きが良くなる。
- ぐず米が少ない。
- 連作障害を軽減。
- 腐熟を助ける。
- ジャンボタニシの害が少ない。
- 地温が上がる。 等々



[ご注文書]

年 月 日

フリガナ		〒	—		
氏名				ご住所	
お電話	— —				

(質問内容)

●商品名及び容量・価格一覧

商品名	容量	1ℓ (1,000cc)	5ℓ (5,000cc)	10ℓ
aika エポック		(本体価格) ¥2,300 (税別)	(本体価格) ¥8,800 (税別)	(本体価格) ¥13,000 (税別)
		[注文数] <input type="text"/>	[注文数] <input type="text"/>	[注文数] <input type="text"/>

※1回のご注文合計金額が1万円未満の場合は送料がかかります。
 ※「aikaエポック」をお求めの方には「水稻」資料及び月のカレンダーをご提供させていただきます。

●著書のご案内とご注文


 <p>新版 野菜の作業便利帳 よくある失敗100カ条 (農文協) 定価 ¥2,200 (税別)</p>	[注文数] <input type="text"/> 冊	 <p>民間農法シリーズ 微生物・酵素で 土と作物の自然力を引き出す 愛華農法 (農文協) 定価 ¥1,700 (税込)</p>	[注文数] <input type="text"/> 冊
---	------------------------------	---	------------------------------

aikaエポックの使用事例

事例:1 (農業法人)

本当は誰にも言いたくない微生物の土づくり

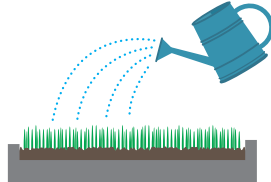
「aikaエポック」を活用して、牛糞堆肥を投入、耕畜連携による稲わらとの堆肥交換システムを確立。育苗期(田植え前)に2回の葉面散布及び本田で2回(穂ばらみ期・穂ぞろい期)の葉面散布。



事例:2 (小規模農家)

塩水選にも使いたい

- ハ種時に500倍液(こも、シルバーポリ)散布
- 苗が発芽して4cm位の時、こもとシルバーポリを取り、かん水をした後、500倍液をジョロで散布。苗箱100箱に20ℓ。
- 定植前日に500倍液を散布。
- 定植当日に500倍液をもう一度、たつぶり散布。定植は株間21cm。
- 定植後、動フンで500倍液1回散布。



苗箱100箱に20ℓ

資料のご請求及びお取扱いご希望は
 お気軽にお問い合わせください。

フリーコール **0800-500-0147** これは おいしいな